

K S K Q

2021年度
第2号

オリーブだより



オリーブの一年をふりかえって・・・

当たり前の日常があること、当たり前に笑い合えること、いつもの仕事がそこにあること、レクができること、みんなとご飯(お味噌汁)が食べられる事・・・

そういったことの大切さが、身に染みた一年だったと、そう思います。

オリーブではスタッフ間でいつも話し合ってきました。

どうしたらできるか、どうしたら楽しいか、どうしたらみんなが自分らしくオリーブにいることができるか。どうしたら、そのことをみんなで分かち合えるか・・・

◆春のお花見では、久しぶりのレクを楽しみました。コロナ禍でも当然例年通り、美しい桜がさきほこってありました。「コンビニに淹れたてコーヒーを買いに行こう！」との突然のスタッフの提案に賛同されたみなさんが、実はどうやって機械でコーヒーを淹れるか分からずにてんやわんや・・・そんな、ちょっとしたことをやってみることの大切さ、楽しさを思いました。

10月の旅行では実施できるかどうかずっと不安な中の準備となりましたが、できるだけ中止のリスクを避けて、京都市内で移動の容易な近場の大原を選定。できるだけ分散して行動できるようにグループ別行動の工夫をしました。お天気もばっちり晴天でしたね！みんなの願いが天に届いたのでしょか？お寺に温泉、お料理、それぞれ楽しんだグループ体験等々・・・素敵な2日間でした。その他、知恵を絞って色んなレクを企画して、楽しめた事、本当に貴重な時間だったと思います。

◆日々の作業に目を移すとコロナの影響で全国の作業所でお仕事不足の中、オリーブでは皆さんの日々のがんばりが評価されてか、あちこちから「オリーブさん、コロナ禍でも頼りにしてますよ！」とお声かけを頂き、内職や清掃等、色々なお仕事を紹介頂きました。皆で力を合わせ、目の前のお仕事に丁寧に取り組んできた成果が、こんな時こそ、力になってくれたのだと、日々の取り組みの大切さをあらためて感じました。

◆畑と加工・お店はいつも連携しながら、食を通じた取り組みで、地域と繋がってきました。今では店の前の野菜売り場をチェックしながら通る地域の方々、自身の経営するお店でオリーブの商品を使いたいと声をかけて下さるの方々、毎週販売に行く区役所・保健センターの方々、以前に増してオリーブの野菜やパン、お菓子を楽しみにして下さっている様子が伝わってきます！

また、加工でも畑でも以前小山で取り組んでいた商品作りにあらためて取り組んだ一年でもありました。お手製の小さなビニールハウス、本当にかわいらしく、その中で働くメンバーを見てはうれしくなりました。

◆醍醐寺の清掃作業では、毎日変わらずしっかりと取り組んできたことで、お寺やお寺のトイレはいつもきれいな状態がキープされています。この、日々のたゆまぬ仕事の積み重ねがやはり、お寺さんからすると非常に大きな信頼となっているのだと思います。今年度以降は契約書も自動で更新して頂ける様に取り交わすことができました。皆の努力が一つ一つ実を結んできているのだと思います。

色々な事が有り、日々皆さんと考え、話し合い、行動してきた一年間でしたね。コロナ禍は大変です。制約も多いです。でもコロナ禍だからこそ気付けたこと、深めた思いがありました。それはこれからも変わりません。また、皆さんとああでもない、こうでもない話し合いながら、笑いながら、時には怒りながらも、それぞれが自分らしく、一步一步、ふみしめて歩んで行けるようにと、あらためて思っております。(正岡)



グループホームの日常



グループホーム小山の家には、4名のメンバーさんが入居されています。メンバーさんは、好きなことに熱中したり、誰かとおしゃべりしたり、散歩されたり、マイペースにそれぞれもつ色を大切にしながら、生活してらっしゃいます。

野菜ソムリエの料理家渡邊さんが作ってくれる美味しい料理が提供され、またオリーブで作った美味しい野菜、パンが朝、夕に提供される時もあります。私もつつい食べ過ぎてお腹周りが気になる今日この頃です。

私が職員として小山の家に関わり一年がたちます。メンバーさんのあらたな一面や、外とは違うリラックスされた表情を見ると嬉しくなります。メンバーさん、スタッフさんそれぞれゆっくりと変化していく中で、それに合わせるようにグループホームも変化しつつあります。その変化の中で、次はどんな知らない一面を見せてくれるのだろうか楽しみです。

食まちアグリゲーションの渡邊さんとは、無印良品京都山科店さんの「つながる市」でご縁がありました。週1回晩ごはんを作りにきてくださっています。

突然ではないですが インタビュー

今回インタビューさせていただいたのは、グループホームで生活をして4年になるKさんです。Kさんは今後グループホームのサテライト(※)に住むことを検討されています。大きな変化があることを想像しますが、今のお気持ちを話してくれました。

スタッフ: グループホームでの生活はいかがですか。良いも悪いも含め。

Kさん: 良い面はみんなと一緒に食事したり、レクリエーションに行ける所。残念だと思ふ所は、お互いそうだと思うけど、譲らないといけないところは譲らないといけない。お風呂場とか洗面所、チャンネル、洗い物とか。

スタッフ: そういうことで出て行きたいと思ったことは?

Kさん: あった。

スタッフ: どう対処していましたか?

Kさん: 自分の部屋や外に出たり、スタッフさんに相談したり。気持ちのコントロールが難しい時もあった。1人で判断しなくてもいい居心地の良さもあった。

スタッフ: なぜサテライトを考えているのですか。

Kさん: もうそろそろ行ってみても大丈夫かなと思った。一部屋空くことによって他の希望する人が使いやすいかなあと。

スタッフ: サテライトでの生活になったとして、楽しみなことと不安なことを教えて下さい。

Kさん: 楽しみなのはテレビが自由に観れること。不安なことは、しょーもないかもしれませんが、電気が切れた時、水道やガスがどうにかなったら不安と思う。

スタッフ: そういう時は・・・。

Kさん: オリーブに来て聞いてみようと思う。

スタッフ: ありがとうございます。最後に伝えたいことがあればお聞かせ下さい。

Kさん: グループホームというのは、老人ホームとかではなく、将来的には1人暮らしをしていくためのステップ・訓練と自分は思っている。いろんな考えがあると思うけど、自分はそう思っている。

※サテライト型グループホームとは・・・グループホームなどからは少し離れたところにあるアパートなどの部屋で、一人で生活をします。食事や余暇活動はこれまでの場所が利用できます。また困ったことがあれば、グループホームのスタッフに連絡して駆けつけてもらったり、サポートしてもらったりできます。



るまんやましな

平成21年4月にスタートしたるまんやましな、約1年後の平成22年4月12日に現在の場所に移転、以来約13年間サロンを開業しています。

当事者の方だけでなく一般の方にも来てもらいたいと考え、試行錯誤を繰り返してきました。今では、地域の方と当事者の方が同じ場所で時間を過ごす事ができ、心のやまいを持つ人についての色々な事を知ってもらい、理解が深まっていると実感できます。

しんどさや満たされないもの、解決しないものを抱えながら過ごしている人。

知らない間にストレスを抱えている人、孤独を感じ家に引きこもる人。

時間を潰すために来る人、話を聞いてほしくて来る人、誰かと話をしたくてサロンに来る人達。

さまざまな思いを一時忘れることができ、再びそれらに向き合う力になるのが人との会話だと思えます。いろいろな人と話して、くつろぐ時間を過ごす。そしてその思いを、その場にいる人たちが循環させていく場所であってほしいと願っています。

落ち着かない気持ちが整い、明日を過ごす力を持って帰ってもらう。これまでと同じ場所で、またここにきて時間を過ごそうと思ってもらえるよう安定した場所を守りたいと思っています。

(河原)

加工のこと

私は一昨年から加工の作業を再開しました。最初は大変でしたが、今では楽しくやりがいを感じています。

加工はパン生地やお菓子を作るだけではなく、パンに使う具材の仕込み、畑で採れた野菜の加工もします。

皆が作ってくれた野菜達を無駄にせず使うにはどうしたら良いか等、話し合いながら形にしていき、それが「美味しい」に繋がった時、とても嬉しく感じます。

そういう日々の積み重ねが自分の体調の安定にも繋がるような気がします。(F.H)



お漬物の完成

畑のこと

昨年9月に種を撒いた大根がすくすくと元気に育ち豊作です。特大サイズの物は根の部分だけで60cm、重さ5キロを超えています。そこで、よつ葉ホームデリバリー京滋さんをお願いして、2月から引き売りを始めていただきました。会員様への配達に合わせて直接大根をお勧めしていただいています。以前は夏時期に沢山とれたモロヘイヤを、昨年は日野菜を引き売りしていただきました。大きさに関わらず水々しく甘みがあり、料理した際の火通りが良いです。食べると美味しいです。沢山の会員の方々に喜んでいただけると嬉しいです。(新川)

立派に育ちました



オリーブの 休憩場

オリーブの休憩部屋は、長年ボタン屋さんを営み、しばらく閉まっていた建物。階段や窓ガラスや壁はなかなかの歴史を感じさせてくれます。改装時にキッチンだけは現代的に。朝から、畑や目の前の作業場、店、加工場を皆がいたり来たり。決して綺麗ではない建物は、地域で何十年も誰かの何かを繋いできた面影があります。そういうものは目には見えないけれど、ちゃんと私たちを包み込んでくれているような気がしながら過ごしています。(浜内)

理事長のひとこと

「再び3つの〇〇」

前回のオリーブだよりで3つの自由について書きました。今回は三種類の連続性です。村上靖彦さんの「居場所とリズム」(現代思想vol49-2「精神医療の最前線—コロナ時代の心のゆくえき」)で居場所についての記述があります。『居場所には三種類の連続性がある。一つは、参加する人自身が居続けられるという本人の感性における内的な連続性、もう一つは同じ住所にいつ行ってもそこにあるという物理的な場所の連続性、三つ目は同じ人に会えるという対人関係の連続性である。(中略)「居ることができる」という存在の肯定の連続性は、物理的な環境の連続性と対人関係の連続性という二つの条件によって支えられる。とりわけ居ることを肯定する対人関係の継続が居場所の連続性を保証する。』

私たち福祉に携わる者(先達)は、社会資源のない時代、自分たちで居場所を作ってきました。制度の狭間や何らかの理由でサービス受給にアクセス出来ない方々に寄り添ってきました。それは、当事者のニーズがそこにあったからです。現在一定の制度やサービスが整い、福祉サービスを提供している事業所の数は増えました。では、居場所は必要なくなったのでしょうか。決してそうではありません。看板に居場所と謳っていなくても、作業所は単に就労を目指す場所ではなく、三種類の連続性を有した居場所の機能を持った場所です。サロンも、グループホームもそうだと言えます。その場所にあり、居続けられ、誰かに会える、こういった場所がない社会は生きづらい社会です。居場所と呼ばれる場所・機能の価値があまり評価されず、それに伴い補助金等が減らされていく傾向にあります。逆に、売り上げを上げる、就職をさせる、そういった可視化・数値化可能な支援が評価をされます。しかし、実際は福祉サービスを必要とする方々は増えるばかりです。増えることがダメなわけではありませんが、増え続けるぐらい、現在の社会が生きづらさを生み続けているとすれば、それを追従するような福祉サービスでは、根源的な解決には至りません。私たち福祉に携わる者が、福祉サービスを通じて何をを目指しているのかを改めて問い直し、行動する必要があります。上記居場所が有している内的な、物理的な、対人関係の三種類それぞれの連続性を、まず自分たちの場所で守ることが福祉の役割だと言えます。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認

毎月(1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.の日)発行

～着物・糸の寄付のお願い～
オリーブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使用させていただきます。

編集後記

・いつもありがとうございます。オリーブの仕事に、しゅみのサッカーかんせんに、鉄道のYouTubeに、今年も一年えんじよいしていきます。(K)

・今季の朝ドラに好きな女優さんが出て見始めました。毎日始まる自分の朝に、少し違った風を通してくれるいい時間になっています。(浜内)

・コロナなどの中、今号は約2年ぶりの参加でした。

ウイルスの進化はとどまるところを知らないようですが、それに負けないぐらい私たちも新型化して、今後の活動を続けていければと思います。(E17)

オリーブだより 2022年3月編集

発行人

関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4階

編集人

オリーブホットハウス

社会福祉法人 オリーブの会

京都市山科区東野中井ノ上町3-33

TEL : 075-591-4669

FAX : 075-591-4679

ホームページ <http://olive-net.info/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/olivehothouse/>

メールアドレス

olivecw@rio.odn.ne.jp

定価 50円

いつもありがとうございます。河村京豆腐店様、今枝文子様、岩村チエ子様、佐藤純様、林紀代美様、大久保様、村上様、奥田様、田中瑠璃子様、仁保千晶様、河原満寿美様、わの会様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、認知症予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日丘セントアール様、県民生活協同組合やまゆり様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリー京滋様、竹之内運送株式会社様、食まちアグリゲーション様、無印良品京都山科店様、つけもんやいし井様、里地会クリニック様、京都市やましましな学園様、協働ホーム様、ぴあひとまち様、山科工房様、笑人様、京都市文化市民局市民スポーツ振興室様、(株)ヤマシナ様、おもてなし処阿吽様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、ケーガニックマーケット、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協賛会様、京都市山科区青少年活動センター様、津乃吉様、東山区社会福祉協議会様、みなが元氣寺浦サロン様、(株)朱常分店様(令三年三月〜令四年三月順不同)